



シスコ ヘッドセット 500 シリーズ セットアップ

- [新規および変更情報 \(1 ページ\)](#)
- [シスコ ヘッドセット 500 シリーズ について \(4 ページ\)](#)
- [シスコ ヘッドセット 520 シリーズとシスコ ヘッドセット 530 シリーズの導入 \(5 ページ\)](#)
- [導入 シスコ ヘッドセット 560 シリーズ \(6 ページ\)](#)
- [関連資料 \(8 ページ\)](#)

新規および変更情報

ヘッドセットファームウェア 2.3(1) の新機能および変更点

次の表に、ファームウェアリリース 2.3(1) に加えられた変更を示します。

Table 1: ファームウェアリリース 2.3(1)に関するシスコヘッドセット 500 シリーズ管理ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
Cisco Headset 520 および 530 Series のダウングレードサポート	ファームウェア管理
Cisco アクセサリハブを介した Cisco Headset 520 および 530 Series のアップグレード	シスコ アクセサリ ハブでのヘッドセットのアップグレード
Control Hub のヘッドセット分析	Control Hub のヘッドセット分析

ヘッドセットファームウェア 2.2 (1) の新機能および変更点

次の表に、ファームウェアリリース 2.2(1) に加えられた変更を示します。

表 2: ファームウェアリリース 2.2(1)に関するシスコ ヘッドセット 500 シリーズ管理 ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
Cisco Webex Control Hub でのヘッドセット管理に関する新しい章	Control Hub でのヘッドセット管理
Cisco Webex Meetings によるヘッドセットのインベントリ Cisco Webex Desk Pro によるヘッドセットのインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> • Control Hub でヘッドセットインベントリを表示する • Control Hub からのヘッドセットの削除 • Control Hub からのヘッドセットのグループの削除 • Control Hub でヘッドセットインベントリを生成する
DECT 狭帯域コーデックの変更	ヘッドセットテンプレート管理
シスコ製アクセサリの Web ツール	シスコアクセサリハブでのヘッドセットのアップグレード

ヘッドセットファームウェア 2.1 (1) の新機能および変更点

次の表では、ファームウェアリリース 2.1(1) に加えられた変更を示します。

表 3: ファームウェアリリース 2.1(1)に関するシスコ ヘッドセット 500 シリーズ管理 ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
Cisco Webex Teams からの Cisco Control Hub のヘッドセットインベントリ	Control Hub でヘッドセットインベントリを表示する
シスコヘッドセット 560 シリーズの会議機能は、デフォルトで有効になっています。	ヘッドセットテンプレート管理
シスコヘッドセット 560 シリーズでは、ヘッドセットがベースで保護されている場合、DECT 周波数が縮小されます。	音声品質が悪い
ヘッドセットアップグレードの進行状況が Cisco Jabber UI (Cisco Jabber version 12.9 以降) に表示されます。	Cisco Jabber でヘッドセット ファームウェアを更新する
Cisco Webex Teams を使用したヘッドセットのアップグレード	最新リリースへのシスコヘッドセットのアップグレード Webex

機能	更新されたセクション
シスコ ヘッドセット Web ツールを使用したヘッドセットのアップグレード	シスコ アクセサリ ハブでのヘッドセットのアップグレード

ヘッドセットファームウェア 2.0(1)の新機能および変更点

次の表に、ファームウェアリリース 2.0(1)に加えられた変更を示します。

表 4: ファームウェアリリース 2.0(1)に関するシスコ ヘッドセット 500 シリーズ管理 ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
電子フックスイッチは Cisco IP 電話のユーザ制御機能になりました。	フックスイッチパラメータが削除されました。シスコ ヘッドセット 500 シリーズ Cisco Unified Communications Manager のパラメータ
新しい章: Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5 (1) またはそれ以前のヘッドセット管理	12.5 (1) SU1 以前の Cisco Unified Communications Manager バージョンのヘッドセット管理
トラブルシューティング: 音質の低下	音声品質が悪い
中範囲 DECT レンジの設定	ヘッドセットテンプレート管理
ヘッドセットパラメータ:ファームウェアソース	ヘッドセットテンプレート管理

ヘッドセットファームウェア 1.5(1)の新機能および変更点

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

表 5: ファームウェアリリース 1.5(1)に関するシスコ ヘッドセット 500 シリーズ管理 ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
Cisco Unified Communications Manager Serviceability 管理を使用したヘッドセットの保守性	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセット管理機能の互換性 • ヘッドセットテンプレート管理 <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットテンプレートの設定 • ヘッドセット管理の概要 <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットインベントリの表示 • 導入済みヘッドセットの集約概要を入手する
リモート問題レポートツールのアクティベーションがサポートされるようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> • Unified CM でのエンドポイントの PRT を生成する

シスコ ヘッドセット 500 シリーズ について

シスコ ヘッドセット 500 シリーズは、Cisco IP 電話、Cisco デバイス、Cisco Jabber、Cisco Webex 向けに最適化されたヘッドセットファミリです。シスコ ヘッドセット 521、522、531、532、561、および 562 は、ノイズの多いオフィス環境に信頼できる高品質サウンド機能を提供します。

互換性のある Cisco デバイスとソフトクライアントの完全なリストについては、[シスコ ヘッドセット 500 シリーズデータシート](#)を参照してください。

- シスコ ヘッドセット 520 シリーズは、USB コネクタまたは 3.5 mm オーディオジャックを使用してデバイスに接続される有線ヘッドセットです。
- シスコ ヘッドセット 530 シリーズは、USB コネクタまたは RJ9 コネクタを使用してデバイスに接続される有線ヘッドセットです。
- シスコ ヘッドセット 560 シリーズは、標準ベースおよびマルチベースと無線通信を行います。標準ベースおよびマルチベースを USB コネクタまたはカスタム Y 字型 ケーブルを使用してデバイスに接続します。ヘッドセットのワイヤレス範囲は、理想的な条件が揃えば 330 フィート (100 m) 以上になります。個々のヘッドセットの範囲は、オフィス環境によって異なります。ヘッドセットの範囲に影響を与える可能性がある要因は次のとおりです。
 - Cisco Unified Communications Manager の設定
 - 壁やドアなどの物理的障壁
 - 他の DECT 電波源からの干渉

- 範囲のシスコ ヘッドセット 560 シリーズ詳細については、ホワイトペーパー [シスコ ヘッドセット 560 シリーズの職場での DECT の導入方法](#)を参照してください。

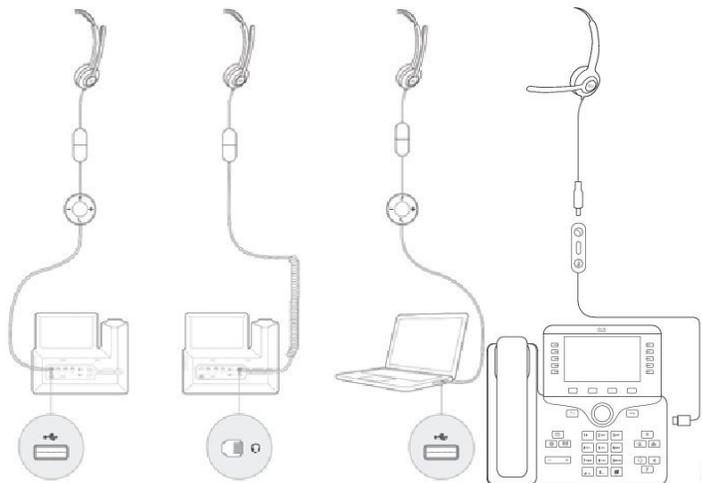
シスコヘッドセット 500 シリーズを完全に導入して管理するには、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアリリース 11.5 (1) SU7 以降および 12.5 (1) SU1 以降を使用します。一部のハンドセット管理については、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアリリース 10.5(2)、11.0(1)、11.5(1)、12.0(1)、および 12.5(1)で利用可能です。詳細については、[ヘッドセット管理機能の互換性](#)を参照してください。

シスコ ヘッドセット 520 シリーズとシスコ ヘッドセット 530 シリーズの導入

このタスクでは、シスコヘッドセット 520 シリーズとシスコヘッドセット 530 シリーズのインストールについて説明します。

手順

電話機またはその他のコールデバイスの適切なポートにヘッドセットを接続します。



(注) シスコ ヘッドセット 520 シリーズおよびシスコ ヘッドセット 530 シリーズのヘッドセット管理は、USB 接続でのみ使用できます。

次のタスク

Cisco IP 電話 での完全なコール制御機能を備えたヘッドセット機能は、Cisco Unified Communications Manager 管理を使用して変更されません。ただし、一部のヘッドセット機能

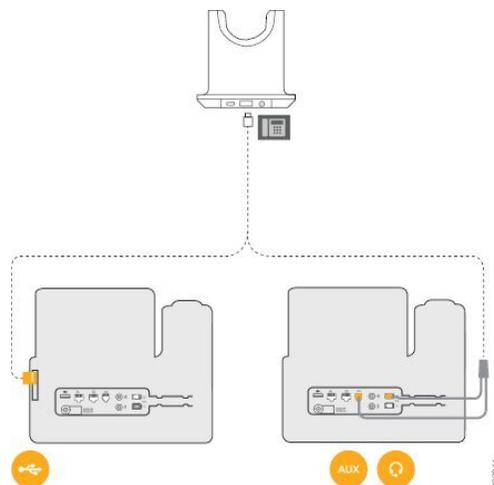
は、Cisco Unified CM 管理者によってアクティベーションが実行された後にのみ使用できます。詳細については、[シスコ ヘッドセット 管理](#)を参照してください。

導入 シスコ ヘッドセット 560 シリーズ

このタスクでは、シスコ ヘッドセット 560 シリーズのインストール手順を説明します。

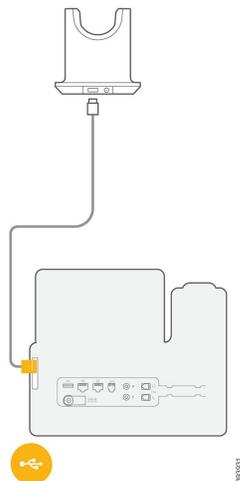
手順

ステップ 1 USB ケーブルをベースの背面に差し込みます。マルチベースでは、USB ポートは左側の micro-USB ポートと右側の電源プラグの間にあります。

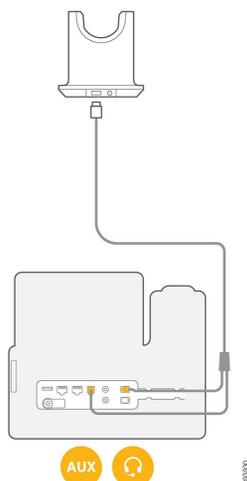


ステップ 2 以下のいずれかの操作を行います。

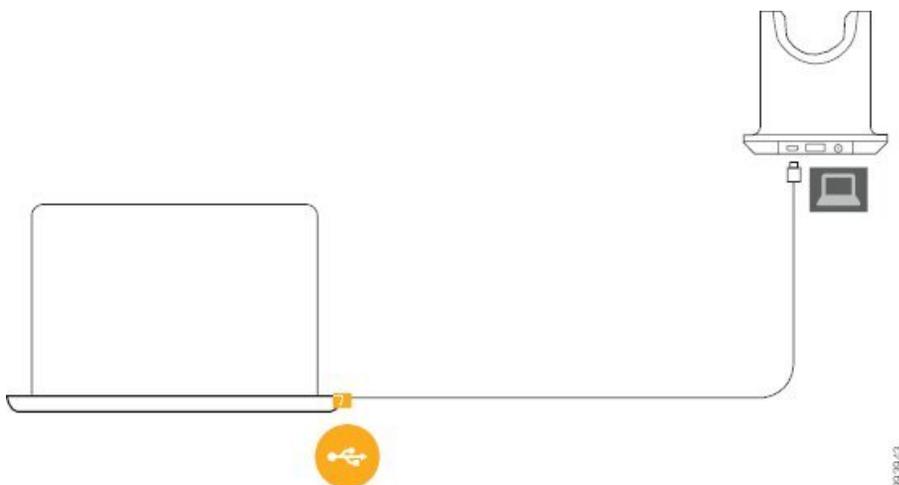
- シスコ ヘッドセット 560 シリーズに USB ケーブルを使用する場合は、Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8865、または 8865NR の USB ポートに差し込みます。



- シスコ ヘッドセット 560 シリーズに Y 字型ケーブルを使用する場合は、小さい RJ-9 ケーブルをヘッドセットポートに、大きい RJ-11 ケーブルを AUX ポートに差し込みます。



ステップ 3 シスコ ヘッドセット 560 シリーズ (マルチベース) を使用して、2 つ目のコールデバイス をに接続することができます。ミニ USB ケーブルをベース背面にある左側のポートに接続します。



(注) 最適なコール品質を得るには、標準の USB ケーブルに Cisco IP 電話 とミニ USB ケーブルを使用して、ラップトップまたはその他のコールデバイスを使用します。

ステップ 4 オプション: マルチベースを携帯電話などの Bluetooth デバイスに接続することもできます。詳細については、[マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する \(8 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 5 電源コードをベース背面に差し込みます。

次のタスク

Cisco IP 電話 での完全なコール制御機能を備えたヘッドセット機能は、Cisco Unified Communications Manager 管理を使用して変更されません。ただし、一部のヘッドセット機能は、Cisco Unified CM 管理者によってアクティベーションが実行された後にのみ使用できます。詳細については、[シスコ ヘッドセット管理](#)を参照してください。

マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する

マルチベース付きの Cisco ヘッドセット 560 シリーズは、携帯電話やタブレットなどの Bluetooth デバイスに接続できます。お使いの通話デバイスには、ヘッドセット ベースは **[Cisco ヘッドセット]** とそれに続くヘッドセットのシリアル番号の最後の 3 桁で示されます。



(注) ヘッドセットのシリアル番号は、ベースの底面の右下隅にあります。

マルチベースでは、最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。すでにペアリング済みデバイスが 4 つある場合、最も長い間使用されていないデバイスはベースで置き換えられます。

手順

ステップ 1 ペアリングを開始するには、ベースの背面にある **[Bluetooth]** ボタンを 2 回押します。

ステップ 2 デバイスの **[設定 (Settings)]** メニューで、ヘッドセットを選択します。

ペアリングが成功すると、Bluetooth LED が白色に点灯します。

関連資料

関連情報を入手するには、以下のセクションを参照してください。

Cisco Webex ヘルプ センター

Cisco Webex 製品のサポート記事については、次の URL を参照してください。

<https://help.webex.com/>

シスコ ヘッドセットのマニュアル

お使いの言語、ヘッドセットモデル、コール制御システムに固有の資料を参照してください。次のドキュメントリンクから参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/headset-500-series/tsd-products-support-series-home.html>

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/headset-700-series/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco IP 電話 6800 シリーズのマニュアル

お使いの言語、電話機モデル、およびマルチプラットフォームファームウェアリリース向けの参照物を参照してください。次の URL から移動してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-6800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco IP 電話 7800 シリーズ マニュアル

お使いの言語、電話機モデル、コール制御システム用の資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/index.html>

Cisco IP 電話 7800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 マニュアル

お使いの言語および電話機モデル向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マニュアル

お使いの言語、電話機モデル、コール制御システム用の資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/index.html>

導入ガイドの URL を次に示します。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-implementation-design-guides-list.html>

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォームフォン マニュアル

お使いの言語および電話機モデル向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Unified Communications Manager マニュアル

Cisco Unified Communications Manager ドキュメンテーションガイドおよびご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースバージョン用の他の資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Webex デスクシリーズのマニュアル

お使いの言語、モデル、およびファームウェアリリース向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/desktop-collaboration-experience-dx600-series/tsd-products-support-series-home.html>